



# 羅針盤

2017年度 第3号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部

2017（平成29）年5月17日発行

## 『学ぶということ』

昔から、折に触れて観返したくなる映画がいくつかある。連休の間、そのうちの一本を観る時間を作ることができた。映画のタイトルは『ザ・ハリケーン』。実話に基づく作品だ。暴風雨を思わせるラッシングパワーで60年代に活躍した黒人ボクサー、ルービン・“ハリケーン”カーターが主人公である。しかし、作中にボクシングの場面はほとんど出てこない。これは殺人事件の冤罪にまつわる、法廷闘争の話なのだ。世界タイトル寸前まで上り詰めたカーターは、その絶頂期に突如逮捕、収監されてしまう。白人3人が銃殺された事件の、容疑者とされたのだ。無論カーターは無実なのだが、現代のアメリカ社会にも依然として残る「黒人差別」—この影響により白人の陪審員たちは全員有罪を支持、カーターは終身刑を言い渡されてしまう。深い絶望の中、唯一の光明としてカーターは身の潔白を訴える獄中記を執筆、出版する。10数年後、その本を読んで感銘を受けた少年が釈放のための運動を起こす。長年の活動はついに実を結び、連邦裁判所でカーターの無実は証明される。そしてとうとう20数年にもわたる獄中生活から解放される、というストーリーだ。

秀逸な場面がある。無罪を主張するカーターは、ストライプの入った囚人服を着ることを拒否、収監当日から地下の独房へと入れられる。期間は90日。長期の孤独な暗闇生活で彼は三重人格障害を発症、衰弱と発狂で死の寸前まで追いつめられる。しかしその後、独房から出された彼が放った言葉はこうだ。『—俺は何を着ればいい。囚人服しか無いのなら、俺をもう一度独房へ戻せ。』（心ある看守のはからいで彼は別の服を用意され、独房へと戻されることはなかった。）この場面を見る度に、私は「屈しない勇氣」というものを教わる気がする。そして大事なことがある。カーターは、自分の人生にとって重要なものが何か、はっきりと見えていたのではないかということだ。人生は一度きりでやり直しがきかない。それなら、どういう姿勢で人生を貫くべきなのか。カーターの行動は、そういった信念に基づいていたように思う。それは強制された義務感とは違うし、理屈や損得以上に強いものであったはずだ。

作中でカーターが、獄中で体験した「書く」ということに言及する場面がある。これはそのまま、「学ぶ」という行為に置き換えて捉えることができる。紹介しよう。『—書くことは武器だ。拳なんかよりずっと強い。書くたびに私は刑務所の壁を越えて、遙かニュージャージー州の先まで見渡せたんだ。まさに魔法さ。～（どんな知識が必要か、という質問に対して）実際に知識を得ようとするのは君自身だ。自分にとって、真実と思える知識を探せ。』カーターの言う通り、この世界に良い知識か悪い知識か、という境界線は存在しない。知見の重要性は、自分自身で決めるしかないものだ。部外者の評価、良い大学に入れる、出世ができる、そういったことに影響されてはいけないものだ。どうか心のままに、自分自身が求めるものをその眼で見て欲しい。周囲の声に惑わされず、光明だと信じるものへと進んで行って欲しい。その姿勢は誰にも、侵すことが許されないはずだ。

2014年、ハリケーン・カーターは癌によってこの世を去った。しかし彼が遺したメッセージから、我々はどう生きるべきなのかを学ぶことができる。いよいよ中間考査である。皆さんが何を見据えて、何を学ぶのか。その結果を期待して待つ。

### 『チューターによる「自主学習支援」』

今年も豊多摩高校では、東京都による「自主学習支援」として12名の方にチューターとして来ていただくことになりました。それぞれの担当教科と所属大学は以下の通りです。

試験勉強でわからないところを質問したりするなど、より深く理解できるような形で利用してもらうことをめざし、期間は原則5回の考査前のそれぞれ7日間（3月のみ4日間）になっています。会場はB棟2階の大会議室（会議時は別室。後日指示）、時間は平日16～18時、土曜13～16時です。

誰でも利用できますが、会場での飲食や学友同士のおしゃべりは禁止です。会場内のスペースが限られているので、お互い融通し合って利用してください。

66期	梅津開人	英・数	東京工業大・第5類
	海野江利	国・英	獨協大・外国語学
67期	石原朱莉	国・英	青山学院大・文学
	森田剛史	数	東京学芸大・教育学
	常盤勇太	数・理	青山学院大・理工学
	松谷直香	国・英	東京学芸大・教育学
68期	東海林輝	数	早大・先進理工学
	迫田康佑	数	電気通信大・I類
	梅津大雅	数・理	東京工業大・第4類
	吉田朱音	化・数	東京農工大・工学
69期	唐沢 仁	英	東京外大・言語文化
	小川里奈	国・英	首都大・都市教養

また、具体的な問題や疑問に思っている箇所がわかるように準備し、担当科目のチューターの方がいらしている日を確認しておくなど、たくさんの方が有効にこの時間を使えるよう協力してください。チューターは全員豊多摩高校の卒業生です。廊下などで出会った際、どうして今の大学や学部学科を選んだのか、どのように勉強と部活を両立したのか、受験勉強をどのように乗り越えたかなど、豊多摩生だからこその話をして下さるかもれません。是非、顔と名前も覚えてください。

1 中間	5/15月	5/16火	5/17水	5/18木	5/19金	5/20土
担当教員	田口	見上	坂口	遠藤	三池田	州山
	海野(国英) 迫田(数) 梅津開(英数) 吉田(化数)	吉田(化数) 梅津大(数理)	海野(国英) 吉田(化数)	(未定)	迫田(数) 梅津大(数理)	松谷(国英) 迫田(数)
1 期末	6/24土	6/26月	6/27火	6/28水	6/29木	6/30金
2 中間	10/13金	10/14土	10/16月	10/17火	10/18水	10/19木
2 期末	11/27月	11/28火	11/29水	11/30木	12/1金	12/2土
学年末	2/28水	3/1木	3/2金	3/3土		

※5月分最終版は、大会議室に掲示します。各自確認して下さい。